

①意見提案
・ 東小のあと利用も観光局のエリアとして都会の子供たちの体験場所とすべき
・ 青年の家のグラウンドのラグビー場化は町民のためにならない。別の方法にすべき。
・ 青年の家のグラウンド芝生化計画をはっきりさせて合宿等に活用すべき
・ 日本で一番。二番ではダメ
・ まずは松川の強み(アピールポイント)を明確にする
・ 検討委員会の検討するべき点も明確にする
・ 事業を具体的に進展させるためには柱が必要ではないか
・ ハーフマラソン事務局をやってはどうか
・ 町全体に収入が上がるシステムが欲しい
・ 滞在できる仕組みはもっとあるだろう
・ 松川の暮らしぶりを分野ごとに分かるように
・ 提案できるプランがたくさんあるといい
・ 町内飲食店でも団体受け入れられる(20-40名)
・ 松川にはどんな芸能があるか
・ お祭りは資源になる
・ JRとのタイアップ
・ 伊那大島駅 商店街の活性化
・ 各団体の関わり方を明確に
・ 町民の温度差、地区の温度差、認識の温度差
・ 情報発信が足りない(特に町長)
・ 一般市民向けの中間報告会を
・ 観光局には常勤の局長(社長)を置くべきだ。(責任体制)
・ 来年の4月に一気にやろうとすると無理では。全体の流れがわからない(伝わっていない)
・ DMOの差別化。松川町の長所
・ 松川町の伸びる部分は。とりかかりは何か。言語化。差別化。
・ いろいろやって残るものって少ないじゃないのか。小さなものから大きく育てて。堅実に伸ばしていく方法。
・ 地域全体での儲ける地域づくり…ついていけない人たちはどうしているか
・ 町民(受け入れ側)とお客様(訪ねてくる方)価値観のズレをどう町民が意識できるか。
・ 体験型農業が松川で観光材料となるのでは。(例:大人向け子供農場)←後まで残る。組み合わせればいい(ニーズを細かく拾っていく)→この地域でどのような体験ができるか←聞き出す能力(ニーズを深く掘り下げる)
・ 松川は人が多い。危機意識が低い。
・ どういうものから手を付けていくのか。ツアーなど予算ついてから?
・ 農商工連携 七楯、上大島で終わらせない
・ 都会と田舎の価値観のズレ 宿泊 松川人

②疑問点
・ 民泊中心ということなのか？受け皿は十分あるのか？
・ 観光関係を統合するらしいが清流苑は入れないのか。当然入れるべきと思うが。
・ 青年の家の方向性を早くはっきりすべきだ。宿泊について観光に大いに関係がある
・ 関係団体との棲み分けをどのように行っていくか。
・ 主な収入源は？
・ 観光局は持続可能か？
・ 観光資源が季節により偏りがある
・ 組合に入っていない方の扱い
・ 今現在町に来られるお客様は何を求めているのか(アンケートで調べているか)
・ 団体の食事処は
・ ニーズに応えられる整備が必要か
・ 観光地になった場合の管理？
・ 民泊への憧れ？松川の資源は何か？
・ 伊那谷のセットの旅行で求められるものが変わってきている(サクランボ→メロン)
・ 観光局は町の中の組織なの？
・ 観光局と協会、他団体との関係は
・ 観光協会とどう違うの？
・ 町のイベントは観光局がやるの？
・ 観光協会はどうなるの？他団体は？
・ 進んでいるの？どうなるのかわからない
・ 青写真が見えない
・ 農業体験のニーズはどんなものがあるか(採算性)
・ 自然体験は天候条件で変わるのでは？その時のプランは？
・ ワンストップ窓口でお客様のニーズをどこまでつかめるか？他地域との差別化は出来るか？
・ 民泊と民宿の違いは何か
・ 町民への広報(DMO地域全体でもうける)
・ 小値賀 ついていけない所でのサポート。どのように巻き込んでいるのか
・ 失敗例から学ぶことは(もっと学べ。いいことだけ聞くな)
・ 南信州観光公社との連携は？
・ 心に残るおもてなしとは。農家もわからない→答えを見つければ強い